

令和6年度 事業報告

法人本部

障害者自立支援施設くるみ

○自立訓練（生活訓練）

○就労移行支援

○就労継続支援 B 型

○就労定着支援

地域生活支援センターぽぽろ

○地域活動支援センター（I 型）

○精神障がい者地域生活支援事業

○市町村相談支援事業

○指定一般相談支援事業

○指定特定相談支援事業

○地域生活支援拠点事業

外部サービス利用型共同生活援助どんぐり

社会福祉法人　くるみ会　令和6年度事業報告

目　次

	頁
I，社会福祉法人くるみ会	1
II，法人本部	3
III，障害者自立支援施設くるみ	5
IV，地域生活支援センターぽぽろ	8
V，外部サービス利用型共同生活援助どんぐり	14

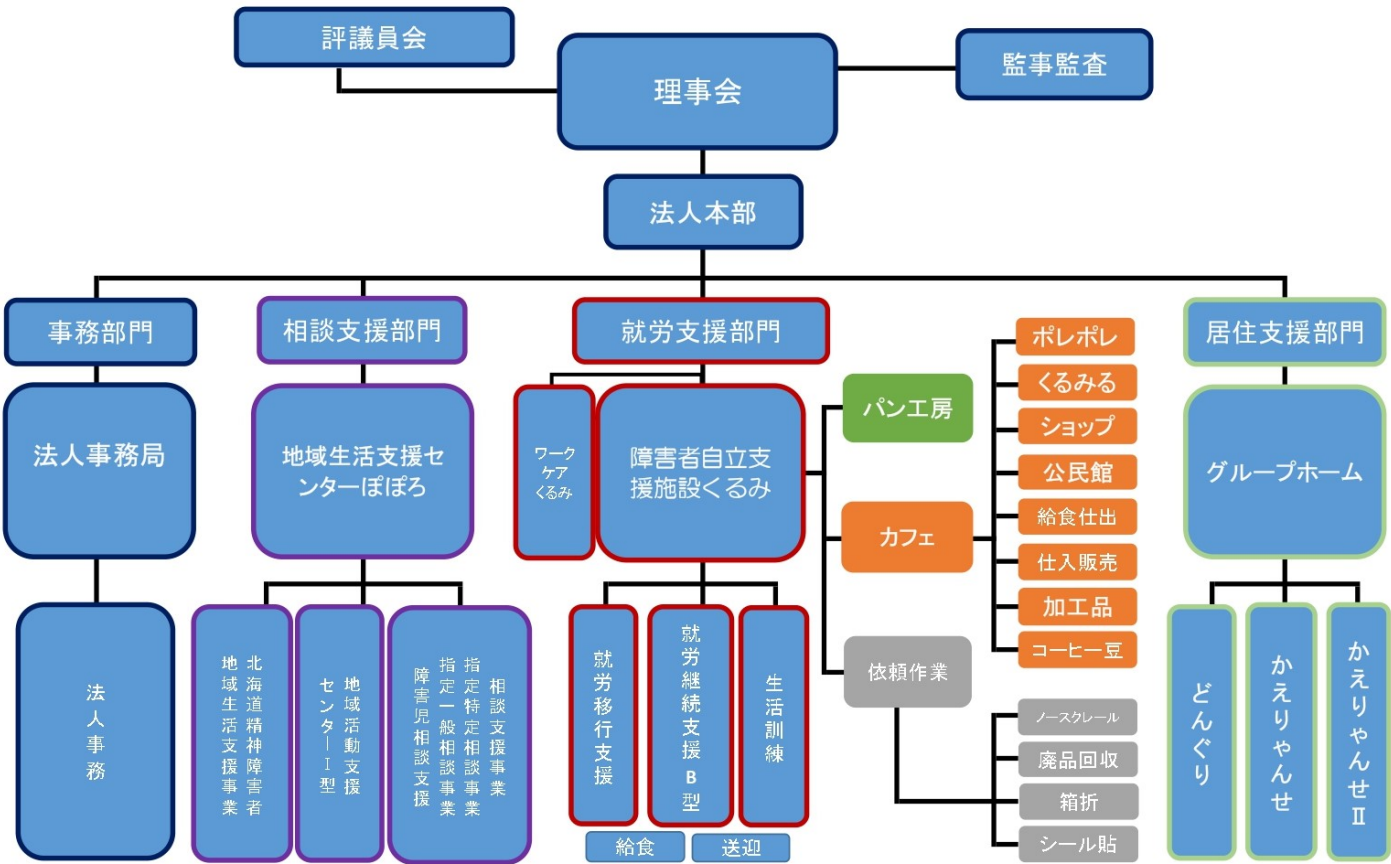
I. 社会福祉法人　くるみ会

1. 法人理念： 「笑顔の創出」

2. 運営施設

施設名	運営事業
障害者自立支援施設くるみ	生活訓練、就労移行支援、就労継続支援B型、就労定着支援（ワークケアくるみ）
地域生活支援センターぽぽろ	特定相談支援事業、障害児相談支援事業、一般相談支援事業（地域移行・地域定着） 市町村委託事業：地域活動支援センターⅠ型、市町村相談支援、地域生活支援拠点 北海道委託事業：精神障がい者地域生活支援事業
グループホームどんぐり	外部サービス利用型　共同生活援助事業

社会福祉法人くるみ会組織体系



令和6年度をふりかえって

令和6年度も自然災害や記録的な猛暑などが続き不安感が高まりましたが、パリ五輪・パラリンピックでの日本人選手の活躍、大リーグドジャース大谷翔平選手による史上初の「50—50(50本塁打、50盗塁)」の達成などに日本中が熱狂に包まれ、スポーツの力が私たちに希望と勇気を与えてくれました。

アメリカのトランプ大統領の再任、石破総理の誕生などトップの変更にも関心が寄せられ、期待と不安の入り混じった年でもありました。

こうしたことに影響を受けながらも、自立支援施設くるみでは通所者が生き生きと活動し、その姿に新たな利用者が引き寄せられるように集まってくるなど大きな成果につながっています。職員間で情報共有し、利用者に適切な支援を行うことで一般就労に繋がった利用者が複数人誕生し、利用者はもちろん職員にとっても大きな喜びになっています。

メイン事業であるパン・菓子の製造販売では、コロナ禍で訪問できなかった事業所での販売が再開するなど、明るい話題の中で売り上げ増につながっています。安定した数量の確保と品質の高さが評価され、少しずつですが卸売りの広がりも出てきています。

地域生活支援センターぽぽろでは、年度途中で新たな体制を構築し、充実した相談支援事業所として再スタートを切ることができました。

変化の激しい時代、若い人材を育成し、はつらつとした笑顔あふれるくるみ会を目指していきたいと願っています。

理事長 茅野輝美

Ⅱ. 法人本部

1. 評議員会

開催日	参加人数	議 題
R6/6/14	6人	第1号議案 令和5年度 決算承認の件 報告事項 令和5年度 事業報告の件
R6/10/31	6人	第1号議案 田澤智晴理事の退任について承認の件
R7/1/17	決議の省略	第1号議案 山下克己氏監事辞任の件 第2号議案 田澤智晴氏理事辞任に伴う後任理事選任の件

2. 理事会

開催日	参加人数	議 題
R6/5/27	6人	第1号議案 令和5年度事業報告並びに決算承認の件 第2号議案 6月度定時評議員会の招集の件
R6/8/6	6人	報告事項 ① 令和6年度 第1四半期事業決算報告 ② 理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告
R6/8/19	5人	第1号議案 地域支援センターぽぼろの体制整備の件
R6/10/21	決議の省略	第1号議案 田澤智晴理事退任を議案とする評議員会召集の件
R6/10/31	4人	第1号議案 令和6年度 上半期事業報告及び中間決算承認の件 報告事項 ① 理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告 ② 田澤理事より提出された辞任届について
R6/12/11	6人	第1号議案 ① 山下監事より提出された辞任届について 報告事項 ② 地域生活支援センターぽぼろの業務経過報告 ③ 理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告
R7/1/27	5人	第1号議案 令和6年度 第3四半期事業報告及び決算承認の件 第2号議案 職員の期末手当（決算手当）割増支給の件 第3号議案 監視カメラ設置の件の件 報告事項 欠員役員（理事及び評議員）補充の件
R7/3/27	4人	第1号議案 令和7年度事業計画（案）及び事業予算（案）承認の件 第2号議案 令和6年度積立金計上の件 第3号議案 令和7年度職員給与ベースアップの件 第4号議案 山下克己氏を監事候補者として再推薦する件 第5号議案 山下克己氏監事選任を議案とする評議員会開催の件 報告事項 ① 理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告 ② 地域生活支援センターぽぼろの現状について

3. 監事による監査

開催日	参加人数	議 題
R6/5/22	2人	令和5年度決算監査
7/19	2人	令和6年度第一四半期決算監査
10/18	2人	令和6年度上半期決算監査
R7/1/23	1人	令和6年度第三四半期決算監査

4. 評議員選任・解任委員会

開催日	参加人数	議 題
R7/1/23	3人	現評議員の退任に伴う後任評議員選任の件

5. 職員及び役員参加研修

日 付	研 修 名	参加者
R6/6/25	令和6年度障害程度区分認定調査委員研修	山崎理恵
7/3~7/5	就業支援基礎研修	谷井智也
7/17	社会福祉法人会計決算分析セミナー	大辻克己
7/17~10/23	令和6年度相談支援従事者研修（初任者研修）	宮本悦子・白府 忍
8/30	組織と個人の成長を両立させる人材マネジメント	大辻克己
9/17~9/19	全道ピアサポート研修	白府 忍
9/27	社会福祉法人における財務分析の進め方	大辻克己
10/5~10/20	社会福祉士実習指導者講習会	谷井智也
10/23	令和6年度地域移行研修会エリア研修	山下かおり
12/16	3圏域合同企業セミナー	谷井智也
R7/1/31	障がい者虐待予防研修会	茅野和恵・片山豊和
2/4	令和6年度 社会福祉法人経営実務セミナー	茅野和恵
2/8~2/11	精神保健福祉士実習指導者講習会	山下かおり
2/20	砂川市 保健福祉フォーラム	片山豊和 他7名
2/25	令和6年度砂川市高齢者及び障害者虐待防止連絡協議会	茅野和恵
2/26	就労支援セミナー	谷井智也・茅野和恵 山崎理恵・山下かおり
3/13	自殺対策関係者学習会	山崎理恵・山下かおり

Ⅲ. 障害者自立支援施設くるみ（多機能型訓練施設）

1. 実施事業

事業種別	定 員	事 業 目 的
生活訓練	6名	利用者が充実した社会生活を営めるようニーズを把握し必要な支援訓練を行う。 障がいの特性や適性に配慮した生産活動を実施することで、利用者の社会参加を高める。
就労移行支援	6名	施設内での生産活動や施設外就労、企業での実習を通して就労に必要な知識・能力を養い、一般企業への就労に繋げる。またその企業で定着していくことを目的に訓練指導を行う。公共職業安定所での求職登録など、就職活動の支援を行う。
就労定着支援 （ワークケアくるみ）		一般就労へ移行した障がい者について、就労に伴う生活面の課題を改善するために、就労先への訪問や本人による来所等により必要な連絡調整・助言等を行い、就労の継続のための支援を行う。
就労継続支援 B 型	28名	一般企業などへの雇用が困難な利用者に対し、就労や生産活動の機会を提供し、日々の活動を通して社会の一員として充実した日常生活を営むことが出来るよう、自立に向けた支援を行う。

2. 職 員

職 種	人 数		職 種	人 数	
管理者	常勤	1名	目標工賃達成指導員	常勤	1名
サービス管理責任者	常勤	1名	就労定着支援員	常勤	1名（兼）
就労支援員	常勤	1名	給食調理員	非常勤	2名
生活支援員	常勤	3名	送迎職員	非常勤	1名
	非常勤	2名			
職業指導員	常勤	4名			
	非常勤	4名			

3. 行 事

日 付	行事名	場所	参加者数
5/12	お花見	くるみ（多目的室）	19名
5/17	春のウォーキング	上砂川パンケの湯周辺	4名
8/11	砂川市盆踊り大会	アイアイ駐車場（市民駐車場）	4名
9/8	第2回希望まつり	深川市文化交流ホールみ・らい	8名
10/18	秋のウォーキング	上砂川パンケの湯周辺	3名
10/19	ワイワイ祭り	くるみ・つむぎ・つばさ	31名

11/17～18	一泊研修旅行	ウボポイ・苫小牧プリンスホテル	23 名
12/27	クリスマス会	くるみ（多目的室）	44 名
1/25	ボッチャ交流会	くるみ（多目的室）	12 名
2/28	冬のウォーキング	上砂川パンケの湯周辺	4 名
3/20	ボーリング大会	オリエンタルボウル	19 名

4. 実 績

事業種別	定 員	稼働日数	実人数	延人数	利用率	実人数前年差	延人数前年差
生活訓練	6 人	243 日	9 人	1,255 人	86%	－2 人	－213 人
就労移行支援	6 人	243 日	5 人	506 人	35%	＋2 人	－10 人
就労定着支援	－	－	3 人	36 人		－1 人	＋2 人
就労継続支援 B 型	28 人	243 日	50 人	8,499 人	125%	＋3 人	＋1,229 人

事業種別	利用者（前年度）	実績（前年度）・効果・課題
生活訓練	実人数：9（11） 延人数：1,255 （1,468）	・個別支援実施計画策定により利用者の支援をより一層充実させ、満足度向上を得る事ができた。 ・利用者に新しい作業へ参加する意欲や利用者同士で協力して仕事に取り組む姿勢が身につくよう訓練を行った。 ・長期間通所出来ない利用者に、電話による安否確認や体調確認、通所の促しを行い、通所率の向上、利用者満足度の向上が図られた。 ・提供している作業メニュー減少により、物足りなさを感じる利用者が散見された。
就労移行支援	実人数：5（3） 延人数：506 （516）	・関係機関と連絡会議等に参加し情報提供を行った。 ・求職を目指す利用者に対して、ハローワークに同行し求職活動を行った。 ・障害者職業センターと連携し、2名の職業評価を受けた。 ・利用者の職場実習受入れ先を1件新規開拓し実施できた。 ・利用者の要望に沿った実習先の開拓や確保が課題。 ・空知管内における障がい者卒雇用の求人が少ない。
就労定着支援	実人数：3（4） 延人数：36（34）	・生活面や就労先での課題の確認や改善方法などの相談対応を行った。 ・就労に伴い発生する生活面の課題である生活リズムの確立をはかるよう支援し就労定着に結び付けた。 ・就労定着支援レポートを毎月作成し本人と事業所に提出することで支援の統一化を図った ・事業所訪問を月1回以上行い事業主等から本人の勤務状況の確

		認を行った ・事業所からの要望に対して、提案や助言を行った。 ・定着支援を利用して頂けるようサービスの質の向上を図る。 ・地域や事業主へサービス内容の周知と理解。 ・支援内容を本人と関係者で共有し支援効果を高める。
就労継続支援B型	実人数：50（47） 延人数：8,499 （7,270）	パン売上：29,221,864 円（24,238,265 円） カフェ売上：11,959,434 円（10,792,890 円） 依頼作業売上：2,907,692 円（2,739,847 円） 合計44,088,990 円（37,771,002 円） ・利用者数の適性を考慮し作業配置を変更することで利用人数の増加及び稼働率を上げることができた。 ・作業を通し、協調性や思いやりの心を持てるよう対人関係の作り方を学ぶことができています。 ・パン事業及び菓子事業では新商品の開発、販売先の新規開拓により定期的、継続的な受注ができています。 ・依頼作業では業者から自動化機器の導入があり効率化が図られ生産量、売上の増加につながった。 ・病気や年齢による対応力の低下により、作業についていけない利用者が増えている。 多様化する障がい特性に合った作業が求められる。 利用者の工賃向上のため収益性の高い事業の導入が課題。 カフェ事業に適應できる利用者を育成できるよう支援する。

Ⅳ. 地域生活支援センターぽぽろ

1. 実施事業

事業種別	概 要	事 業 目 的
地域活動支援センター Ⅰ型	市町委託 4市5町	病気や障がいを抱えながら地域で生活している人に日中活動の場を提供する。 また、地域住民等に障がいの理解を深める普及啓発活動を行なう。
精神障がい者 地域生活支援事業	北海道委託 中空知圏域	(1) 精神障がい者が暮らしやすい地域づくりの推進。 (2) 精神障がい者が安心、安全に暮らせる支援ネットワーク体制の構築。 (3) 長期入院者の地域移行・地域定着を支援。 (4) ピアサポーターの育成。
市町村相談支援事業	市町委託 4市4町	中空知圏域在住の障がい者（身体、知的、精神、難病、発達障がい等）及び家族などからの相談に応じ、課題解決を目指す。
指定特定相談支援事業 指定障害児相談支援事業		障がい福祉サービスを利用している人の包括的な支援計画を作成する。作成した支援計画が利用者の状況に合っているか定期的にモニタリングを実施し、必要に応じて支援計画の見直しを行う。
指定一般相談支援事業		施設入所や入院中で地域移行が可能な障がい者について、入院・入所中から継続して支援を行い本人の希望する在宅生活を推進する。
地域生活支援拠点コーディネーター事業	市町委託 3市4町	地域で生活する障がい者の緊急時の対応や、親亡き後の生活や障がいの重度化・高齢化を見据え、地域全体で障がい者の支援体制の構築を目指す。

2. 職 員

職 種	人 数		職 種	人 数	
センター長	非常勤兼務	1名			
保健師	非常勤	1名			
相談支援専門員	常勤	3名			
看護師	非常勤	3名			

3. 実 績

○地域活動支援センター事業（Ⅰ型）（4市5町委託）

（１）利用者

利 用 実 績		各市町の利用者状況（延人数）					
項 目	人 数	市 町	人数	割合（％）	市 町	人数	割合（％）
実人数	83 人	砂川市	1,650	63.3	滝川市	226	8.7
延べ人数	2,608 人	上砂川町	224	8.6	歌志内市	67	2.6
開所日数	243 日	奈井江町	285	10.9	赤平市	131	5.0
1 日平均利用者数	11 人	浦臼町	9	0.3	新十津川町	5	0.2
		雨竜町	11	0.4			

（２）実施内容・評価・課題

目的	実施内容	評 価	課 題
コミュニケーション能力を高める	・ミーティング ・語ろう会 ・サテライトミーティング	自分のことを語る、意見を伝える、他者の話を聴くなどを通して、コミュニケーションの楽しさを感じた。	① 参加者の高齢化が進み、事故防止のため手すり等の設置が急務である ② JR やバスの便数が減り、砂川周辺地域では通所が不便になってきた。他地域でのサテライト開催等の検討が必要である ③ 疾病や障がいの多様化により、個室対応等の環境整備が大切である ④ 地域活動支援センターの認知度が低いため、SNS等の活用も検討したい
社会性と自主性を養う	・季節の行事 ・創作活動 ・ランチタイム ・サークル活動	プログラムの企画運営やサークル活動を通して、自主性を高めたり、仲間づくりにつながった。	
自分の病気や障がいの認識を深める	・当事者研究 ・疾病別当事者交流会	病気や障がいについて安心して話せる場であり、利用者同士のコミュニケーションを通して、自分の疾病や障がいについて理解を深めることができた。	
健康を増進する	・パークゴルフ ・歩こう会 ・サイクリング ・軽スポーツ ・ラジオ体操 ・料理教室 ・健康講座	日課のラジオ体操やウォーキング、モルック、パークゴルフ等を実施した。参加者の体力向上や食事改善につながった	
障がい理解の普及啓発をすすめる	・各市町、精神科病院等にポスターの掲示を依頼 ・広報誌の作成	公共施設にプログラムの掲示を依頼し、地域活動支援センターを地域住民に周知することができた。	

○精神障がい者地域生活支援事業（中空知圏域）

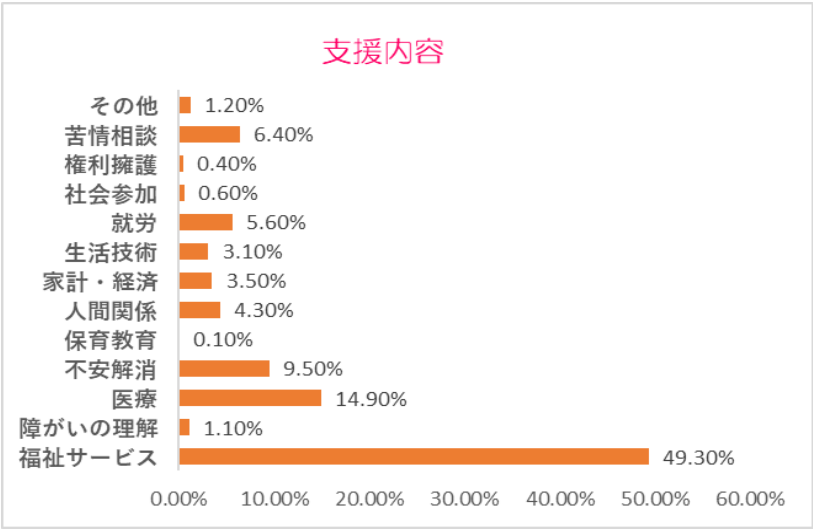
実施内容	内 容			課題
精神障がい者 地域生活移行 支援協議会	開催日	① 講演「後志における地域移行実践 ピアサポーターと協働した地域活動」	参加人数	① 各病院の診療体制等もあり、地域移行、定着事業の周知が難しい ② ピアサポーターの体調不良により、活動量が減少した
	9/6		42 人	
	11/26	① ワークショップ 「秋の味覚 りんごを感じよう！！」	20 人	
保健福祉フォーラム	R7 2/20	テーマ 8050 問題を考えよう 家庭から地域へ ①講演 「小さな集いが生む大きな変化 地域と共に考えるひきこもり支援」	112 人	
地域移行・定着支援	実績なし			
ピアサポーターの育成	ピアサポーター委嘱：7 人 ・ 定例ピア研修（月 2 回） 活動の振り返り、企画などを行なった ・ 全道ピアサポーター研修や全道ピア会議（オンライン）で他圏域との交流や情報交換ができた ・ 令和 6 年 10 月より、砂川市立病院ショートケア、滝川市立病院作業療法室で交流会の実施			
精神科医療機関・関係機関との連携	①退院支援のカンファレンス等の参加 ②センター長会議（オンライン）に参加し、各圏域の担当者と近況報告や情報共有を行った			

○市町村障害者相談支援事業（４市４町委託）

（１）実績

利 用 実 績		各市町の利用者状況（延人数）					
項 目	人 数	市 町	人数	割合（％）	市 町	人数	割合（％）
実人数	223 人	砂川市	1,230	69.5	滝川市	48	2.7
相談延べ件数	1,771 件	上砂川町	109	6.2	歌志内市	59	3.3
		奈井江町	124	7.0	赤平市	104	5.9
		浦臼町	87	4.9	雨竜町	10	0.5

（３）相談支援内容



（４）課題

- ① 相談機関が分からない人も多く、当相談センターの広報が必要である
- ② 交通手段が限定される地域には、そこに合った相談日の設定を各市町と検討する
- ③ 多様化する相談内容に対応するため関係機関と連携を深める
- ④ 複雑多岐に渡る相談内容に対応するため、知識の習得が大切である

○指定一般相談支援事業

（１）令和 6 年度は利用実績なし

（２）課題

地域移行支援・地域定着支援の利用を促すため、関係機関や対象者へ、事業内容の十分な周知が必要。

○指定特定相談支援事業

実績・特徴・課題

利 用 実 績		特 徴	課 題
計画作成 (延件数)	286 件	・新規利用希望者が増えている ・相談支援専門員の体調不良により、一時モニタリングができない時期があったが職員の交代により改善された	①相談者の高齢化に伴い、介護保険等の連携が必要になっている ②相談内容の多様化に伴い各関係機関との連携が多くなっている ③相談支援従事者の質の向上が求められている
モニタリング (延件数)	347 件		

○地域生活支援拠点事業（3市4町委託）

実績・特徴・課題

利 用 実 績		特 徴	課 題
相談延件数	252 人	① 家族の急変に伴い居住先の確保と日常生活の安定を図った ② 疾病の困難性から、日常生活に家族や本人も混乱することも多く、各関係機関等と連携をとり対応しているが課題解決には時間がかかることも多い	①地域全体が高齢化してきており、障害や疾病を持つ人に対する支援は増加傾向にある ②支援が必要な人をできるだけ早期に見つけ、手立てを考える地域づくりが必要である
砂川市	147 人		
赤平市	0 人		
歌志内市	17 人		
奈井江町	21 人		
上砂川町	23 人		
浦臼町	44 人		
雨竜町	0 人		

○その他の事業及び主な取り組み

（１）地域自立支援協議会への参画

依頼市町：砂川市、奈井江町

（２）障がい支援区分認定調査

実施件数 14 件

依頼市町 札幌市、帯広市、京都府日向市、増毛町、江別市、白老町、岩見沢市

（３）普及啓発事業

（1）広報誌かわら版の発行

① 発行回数 年 1 回

② 送付先 中空知圏域の市町村・精神科病院・障がい福祉サービス事業所等。

② 内 容

・地域活動支援センターや地域生活支援事業の活動報告を掲載。

- ・ピアサポーターの活動報告

(2)パンフレット・ポスターの配布

- ・中空知圏域の市町、精神科病院に各事業のパンフレットを配布。

(3)インターネットの活用

- ・当法人のホームページに、センター概要、地域活動支援センターのプログラム、かわら版を掲載している。

(4)理解促進・啓発事業(砂川市委託事業)

- ・保健・福祉フォーラムの開催

(4) 課 題

- ① ポスターやパンフレットを、行政や医療機関など関係機関だけではなく、地域住民に広く周知する必要がある。
- ② 広報誌を活用し、当事者の声を地域住民に届けます。

V. 外部サービス利用型共同生活援助

1. 事業目的

住居を提供し、自立に向けた援助・支援を行うことで、障害者の地域生活を推進する。

2. 施設

施設	定員	住所
どんぐり	6人	砂川市西4条北4丁目 1-19
かえりゃんせ	6人	砂川市吉野1条南8丁目 1-2。
かえりゃんせⅡ	6人	砂川市吉野1条南8丁目 1-3

3. 職員

職種	人数		職種	人数	
管理者	常勤	1人	生活支援員	常勤兼務	1人
サービス管理責任者	常勤	1人	世話人	非常勤	6人
看護師	非常勤	1人			

4. 実績

利用実績（前年度）		活動実績	評価課題
実人数	19人	- 世話人による食事の提供と生活上の支援。 - サービス管理責任者等による相談対応。 - 共有スペースの清掃やゴミ出しなど簡単な家事を分担することで、利用者の生活技能の向上を促す。 - 週1回のミーティングで利用者の状況確認と看護師による健康チェック。 - 全職員による個別支援検討会議の開催。	かえりゃんせⅡ（男性限定）に欠員があるが、入居希望者が女性のため欠員解消につなげられない。
年間述べ人数	5,860人 (5,621人)		
1日の平均利用者数	16.0人 (15.3人)		